



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東  
 コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月18日 配当支払開始予定日 2019年6月19日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	27,235	△0.8	1,066	26.0	1,083	26.2	735	26.9
2018年3月期	27,442	1.2	846	△33.3	858	△33.1	579	△33.1

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2019年3月期	円 銭 122.45	円 銭 —	% 9.9	% 9.2	% 3.9
2018年3月期	96.51	—	8.2	8.1	3.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	12,262	7,626	62.2	1,269.26
2018年3月期	11,294	7,221	63.9	1,201.86

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,626百万円 2018年3月期 7,221百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,208	195	△346	4,038
2018年3月期	1,138	△168	△346	2,979

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	—	—	55.00	55.00	330	57.0	4.7
2019年3月期	—	—	—	55.00	55.00	330	44.9	4.5
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00		40.3	

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,728	2.1	604	27.9	611	27.3	420	31.2	69.93
通期	27,600	1.3	1,200	12.5	1,200	10.8	820	11.5	136.55

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	6,008,300 株	2018年3月期	6,008,300 株
2019年3月期	27 株	2018年3月期	27 株
2019年3月期	6,008,273 株	2018年3月期	6,008,273 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、相次いだ自然災害の影響や、海外の不安定な政治・経済情勢による景気の下振れリスクの高まりなどの要因はあったものの、企業収益の改善が顕著となり、緩やかな回復基調で推移しました。

国内食品業界におきましては、消費者の多様な価値観の高まりや根強い節約志向への対応が求められ、かつ原材料価格の高騰や人手不足が深刻化する厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、新商品の販売強化やユーザーへの直接販売に積極的に取り組むなど、収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、新商品柔らかシリーズなどの拡販に努めましたが、主力商品の原材料高騰による販売鈍化により売上高11,608,608千円（前年同期比4.6%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売は好調に推移したものの、匠味シリーズ以外のミート商品の販売鈍化により売上高2,682,269千円（前年同期比5.0%減）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み強化が順調に推移したことにより売上高12,944,844千円（前年同期比4.0%増）となりました。これにより当期の売上高は27,235,722千円（前年同期比0.8%減）となりました。

損益面につきましては、原材料高騰があったものの、前期の公正取引委員会からの下請代金支払遅延等防止法に基づく勧告が当期は解消して粗利率が改善したことにより、営業利益は1,066,464千円（前年同期比26.0%増）、経常利益は1,083,031千円（前年同期比26.2%増）、当期純利益は735,708千円（前年同期比26.9%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産の部)

当事業年度末における総資産は、12,262,634千円となり、前事業年度末と比較して968,449千円増加となりました。これは主に現金及び預金が1,058,479千円、商品が248,068千円増加したことによるものです。

## (負債の部)

当事業年度末における負債合計は、4,636,548千円となり、前事業年度末と比較して563,490千円増加となりました。これは主に買掛金が448,405千円、未払法人税等が141,833千円増加したことによるものです。

## (純資産の部)

当事業年度末における純資産合計は、7,626,086千円となり、前事業年度末と比較して404,958千円増加となりました。これは主に配当金の支払を330,455千円行った一方で、当期純利益を735,708千円計上したことにより利益剰余金が405,253千円増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：千円)

	2018年3月期	2019年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,138,094	1,208,494	70,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,471	195,351	363,823
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,042	△346,042	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△754	676	1,430
現金及び現金同等物の増減額	622,826	1,058,479	435,653
現金及び現金同等物の期末残高	2,979,821	4,038,301	1,058,479

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,208,494千円の収入（前期は1,138,094千円の収入）となりました。税引前当期純利益が1,083,031千円、棚卸資産の増加が245,905千円、仕入債務の増加が448,405千円ありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、195,351千円の収入（前期は168,471千円の支出）となりました。貸付による支出が150,000千円あった一方で、貸付金の回収による収入が346,000千円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、346,042千円の支出（前期は346,042千円の支出）となりました。配当金の支払が330,455千円ありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,058,479千円増加し4,038,301千円となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	64.1	67.4	69.6	63.9	62.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	—	102.3	108.4	110.7	87.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	21.3	17.5	4.4	2.4	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	112.3	—	—	—	—

## (4) 今後の見通し

## a. 売上高

## &lt;骨なし魚事業&gt;

次期につきましては、原材料不足による売上の減少が引き続き見込まれるものの、新商品の「柔らかシリーズ」「ダイスカットシリーズ」、新魚種の販売などに注力してまいります。これにより売上高は11,702,605千円（前期比0.8%増）を予定しております。

## &lt;ミート事業&gt;

主力商品である「楽らく匠味シリーズ」の拡販を図るとともに、加工品の選別・リニューアルを図り、販売を強化してまいります。これにより売上高は2,732,112千円（前期比1.9%増）を予定しております。

## &lt;その他事業&gt;

次期につきましては、ユーザーへの直接販売の更なる拡大を図るとともに、外郭団体や広域得意先向けPB商品の販売伸長と、マーケットニーズに合った新商品の販売推進により更なる拡販を図ってまいります。これにより売上高は13,165,283千円（前期比1.7%増）を予定しております。

## b. 売上原価・販売費及び一般管理費

仕入価格の安定に伴う粗利率の改善を見込んでおり、引き続き仕入のコストダウンに取り組んでまいります。また販売費一般管理費では、目標達成賞与などによる人件費の増加を見込んでおります。

以上により、第2四半期累計期間の業績予想は、売上高13,728,916千円（前期比2.1%増）、営業利益604,412千円（前期比27.9%増）、経常利益611,597千円（前期比27.3%増）、四半期純利益は420,167千円（前期比31.2%増）となる見込みであります。また、通期の業績予想は、売上高27,600,000千円（前期比1.3%増）、営業利益1,200,000千円（前期比12.5%増）、経常利益1,200,000千円（前期比10.8%増）、当期純利益820,401千円（前期比11.5%増）となる見込みです。

なお、当社の商品購買につきましてはすべて国内取引となっておりますが、パートナー工場の約60%が海外で生産しており、商品の仕入価格について間接的に為替の影響を受けております。当社では、1米ドル110円を前提に次期の業績予想を作成しましたが、次期の為替相場が当該前提と異なる状況となった場合、前記の売上高、費用及び利益は、為替相場の変動に応じた影響を受ける見込みであります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況のほか、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討を進めてまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,979,821	4,038,301
受取手形	87,310	51,612
売掛金	4,932,654	4,891,740
商品	1,972,903	2,220,971
貯蔵品	14,699	12,536
前払費用	11,516	11,096
その他	288,567	91,468
流動資産合計	10,287,472	11,317,726
固定資産		
有形固定資産		
建物	503,521	503,521
減価償却累計額	△378,908	△388,483
建物(純額)	124,612	115,037
構築物	1,144	1,144
減価償却累計額	△1,130	△1,132
構築物(純額)	13	11
機械及び装置	31,410	31,410
減価償却累計額	△14,859	△18,189
機械及び装置(純額)	16,550	13,220
工具、器具及び備品	44,796	44,796
減価償却累計額	△34,737	△38,740
工具、器具及び備品(純額)	10,058	6,055
土地	512,259	512,259
リース資産	33,315	33,315
減価償却累計額	△23,244	△28,830
リース資産(純額)	10,071	4,485
有形固定資産合計	673,566	651,070

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	79,822	53,526
リース資産	17,534	7,533
その他	4,828	4,828
無形固定資産合計	102,186	65,888
投資その他の資産		
投資有価証券	21,748	22,194
繰延税金資産	97,065	104,166
その他	119,456	108,898
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	230,960	227,949
固定資産合計	1,006,713	944,908
資産合計	11,294,185	12,262,634

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,072,450	3,520,855
リース債務	15,587	11,384
未払金	173,524	235,725
未払費用	320,558	220,910
未払法人税等	93,152	234,986
預り金	19,379	19,404
前受収益	818	818
賞与引当金	32,499	31,282
その他	—	30,009
流動負債合計	3,727,970	4,305,377
固定負債		
リース債務	12,019	635
退職給付引当金	221,253	224,264
その他	111,815	106,271
固定負債合計	345,087	331,170
負債合計	4,073,058	4,636,548
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金		
資本準備金	686,951	686,951
資本剰余金合計	686,951	686,951
利益剰余金		
利益準備金	185,083	185,083
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金	2,334,286	2,739,540
利益剰余金合計	4,619,369	5,024,623
自己株式	△47	△47
株主資本合計	7,216,098	7,621,352
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,028	4,733
評価・換算差額等合計	5,028	4,733
純資産合計	7,221,127	7,626,086
負債純資産合計	11,294,185	12,262,634



## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	27,442,741	27,235,722
売上原価		
商品期首たな卸高	1,919,153	1,972,903
当期商品仕入高	23,405,341	23,233,305
合計	25,324,494	25,206,208
商品期末たな卸高	1,972,903	2,220,971
売上原価合計	23,351,591	22,985,237
売上総利益	4,091,149	4,250,485
販売費及び一般管理費		
役員報酬	162,200	162,840
給料	786,863	772,349
賞与引当金繰入額	32,499	31,282
退職給付費用	54,417	44,353
運搬費	654,945	652,196
減価償却費	58,210	56,223
保管費	492,213	514,979
貸倒引当金繰入額	△443	—
その他	1,003,568	949,796
販売費及び一般管理費合計	3,244,476	3,184,021
営業利益	846,673	1,066,464
営業外収益		
受取利息	3,408	2,202
受取配当金	280	307
受取賃貸料	8,976	8,976
為替差益	—	676
その他	3,547	6,751
営業外収益合計	16,211	18,913
営業外費用		
賃貸収入原価	1,779	1,770
為替差損	754	—
その他	1,867	575
営業外費用合計	4,401	2,346
経常利益	858,483	1,083,031
特別損失		
固定資産除却損	46	—
特別損失合計	46	—
税引前当期純利益	858,437	1,083,031
法人税、住民税及び事業税	276,523	354,292
法人税等調整額	2,048	△6,970
法人税等合計	278,572	347,322
当期純利益	579,864	735,708

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金					
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	2,084,876	4,369,959	△47	6,966,689	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			579,864	579,864		579,864	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	249,409	249,409	—	249,409	
当期末残高	185,083	2,100,000	2,334,286	4,619,369	△47	7,216,098	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,019	3,019	6,969,708
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			579,864
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	2,008	2,008	2,008
当期変動額合計	2,008	2,008	251,418
当期末残高	5,028	5,028	7,221,127

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	2,334,286	4,619,369	△47	7,216,098	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			735,708	735,708		735,708	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	405,253	405,253	—	405,253	
当期末残高	185,083	2,100,000	2,739,540	5,024,623	△47	7,621,352	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	5,028	5,028	7,221,127
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			735,708
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△294	△294	△294
当期変動額合計	△294	△294	404,958
当期末残高	4,733	4,733	7,626,086

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	858,437	1,083,031
減価償却費	62,826	60,034
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△443	—
受取利息及び受取配当金	△3,688	△2,509
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,841	△1,217
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,706	3,011
売上債権の増減額 (△は増加)	△511,268	76,611
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,347	△245,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,171,336	448,405
その他	13,571	2,501
小計	1,553,972	1,423,962
利息及び配当金の受取額	3,688	2,509
法人税等の支払額	△419,566	△217,978
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,138,094</b>	<b>1,208,494</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,423	△8,424
無形固定資産の取得による支出	△2,287	△1,660
投資有価証券の取得による支出	△860	△870
貸付けによる支出	△500,000	△150,000
貸付金の回収による収入	338,000	346,000
その他	99	10,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△168,471</b>	<b>195,351</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△15,587	△15,587
配当金の支払額	△330,455	△330,455
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△346,042</b>	<b>△346,042</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△754	676
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	622,826	1,058,479
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,995	2,979,821
現金及び現金同等物の期末残高	2,979,821	4,038,301

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」19,978千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」97,065千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、業務用冷凍食品卸売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,201.86円	1,269.26円
1株当たり当期純利益金額	96.51円	122.45円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(千円)	579,864	735,708
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	579,864	735,708
普通株式の期中平均株式数(株)	6,008,273	6,008,273

(重要な後発事象)

該当事項はありません。